

平成 30 年度 事業報告

はじめに

世界の経済状況は、緩やかな拡大が見込まれるものの、米国と中国の貿易戦争等の影響により大きな変化に直面し、併せて中国の成長鈍化基調が続く中で今後の見通しは不透明な状況となっています。

国内経済は雇用・所得環境の改善が続く中、働き方改革の対応や個人消費で弱さがみられ、国民が景気回復を実感できる状況までには至っていません。

平成 31 年 2 月 29 日に総務省が公表した「労働力調査」では、本年 2 月の完全失業率は 2.3%となり、前月 2.5%と比較して 0.2%低下しましたが、非正規の職員・従業員の割合は 38.2%と依然として高い水準で推移しています。出生率の低下による少子・高齢化問題、年金や医療費等社会保障費の高騰による国の財政問題等で、国民の将来の生活設計の不透明感も払拭出来ていません。

シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、国及び地方公共団体の行財政改革の加速化により大きく変化しています。国のこの事業に対する補助金額は全体で徐々に増加していますが、一般会計からの支出が減少し、雇用保険特別会計からの支出が大幅に増えていることは、一つの懸念材料と言えます。

このような中、当センターでは、事業の基本理念「自主・自立、共働・共助」と働く上でのルール「安全と健康＝自己管理」並びに「適正就業」を基本に、平成 30 年度事業計画に基づいて、会員の皆様はもとより地域の皆様、加古川市をはじめとする公共団体、民間事業所等のご理解・ご協力を得ながら積極的な事業の展開に努めました。

1. 重点的な取組み

(1) 就業機会の創出・拡大、開拓・確保と

会員増の促進及び会員サービスの向上

地域就業機会創出・拡大事業、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、会員の創意と工夫のもとに子育て支援、高年齢者に対する見守り事業、農業支援事業及び地域の企業・事業所等の人手不足の解消を支援するために、たんぽぽ保育園の運営（0～2歳児の保育）、介護予防・日常生活総合支援事業の取組み及び小売店（スーパー）や介護施設、保育園等の業務の受託を推進し、就業機会の創出・拡大に努めました。

加古川市と加古川市町内会連合会のご協力により、センターPR用チラシを加古川市内全家庭に2回（7月、10月）全戸配布、1回（3月）は回覧し、就業機会の開拓と新規入会の促進に努めました。

また、加古川公共職業安定所のご協力により、毎週前半にシルバー人材セ

ンター入会案内、入会相談を実施し新規入会の推進に努めました。

会員就業情報・講習会情報や会員お得情報等の発信と健康相談事業等により会員へのサービス向上を図るとともに会員の定着率を高めるための取り組みを行いました。具体的には、高齢会員のためのプラチナ会員制度実施のためのルール作りを行いました。

(2) 公益法人としての社会的役割、責任と法令遵守

事業運営に関して、センターの社会的役割や責任の観点から、適切な運営を推進するとともに会員の事業への参画を推進し役職員が一体となった事業運営に努めました。具体的には、会員の積極的な事業参画を促すためのポイント制度実施のためのルール作りを行いました。

法令遵守の観点から、特に安全・適正就業において会員自らが日常生活や就業において「健康と安全＝自己管理」という意識のもと、センターにおける働き方についての正しい理解を得るために入会説明会、地区委員連絡会をはじめとする各種会議において啓発するとともに、発注者のご理解ご協力を得るために広報紙や日常業務における説明等を通じた活動を推進しました。

とりわけ平成 28 年 9 月に厚生労働省が示した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を活用して会員及び発注者を対象にセンターにおける働き方（請負・委任、シルバー派遣事業、有料職業紹介事業）及び就業日数・時間（月 10 日若しくは週 20 時間以内）について正しい理解を深めていただくための周知活動及び研修や対面による説明を実施しました。

(3) 第 3 次中・長期計画の推進

平成 28 年 3 月に策定した第 3 次中・長期計画を検証し、設定した目標を着実に達成するための取り組みとして、各種委員会活動で協議・検討し、「正会員会費の減免に関する規程」や「会員拡大の推進に関する報奨制度取扱要綱」の制定により、会員増の取り組みについて平成 30 年度の事業計画に反映し、「正会員会費の減免に関する規程」により、夫婦会員が 58 組（うち新規夫婦会員 15 組）となりました。

2. 事業内容

(1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供活動

加古川市、加古川公共職業安定所をはじめとする関係機関・団体や民間企業、民間団体及び一般のご家庭等から高齢者の就業に関する情報を収集し、電話、就業情報紙、就業情報掲示板（会員休憩室に設置）、電子メール及び HP を通じて、会員に組織的に提供して事業の発展に努めました。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という）・公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」

という)等への参画や他市町のシルバー人材センターとの連携や情報交換により、高年齢者の就業に関する情報を収集し、会員に組織的に提供して事業の質的向上と量的拡大に努めました。

(2) 高年齢者の就業に関する調査・研究活動

役職員や会員が、全シ協・兵シ協等の各種研修会・講習会に積極的に参加し、高年齢者の就業に関する具体的な問題点(安全・適正就業の推進、一般労働者派遣事業、職業紹介事業、地域就業機会創出・拡大事業、事務処理の集中化、高齢法第39条による業務拡大及び自主事業等)について調査・研究して事業の発展に努めました。

高齢法第39条による業務拡大では、各種商品小売業及び社会保険・福祉、介護事業の二つの業種で指定を受けました。

(3) 高年齢者に対する就業相談の実施

毎月の入会受付・手続日に延べ196人(男124人、女72)を対象に「就業相談」を実施しました。

随時相談に訪れる会員に「就業相談」を実施しました。

全会員を対象に「就業情報」(加古川まつり、通行量調査等)を提供し、70人(うち未就業及び就業日数の少ない会員56人)が就業しました。

平成30年9月、平成30年11月及び平成31年3月に未就業会員等を対象に就業相談会を実施、70人(男57人、女13人)の相談を受け、20人(男18人、女2人)の就業先が決定しました。HP及び就業情報掲示板にお仕事情報を掲載して、就業情報を発信、28人の問い合わせをいただきました。

(4) 高年齢者に対する就業機会の確保及び提供

① 受託事業

地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を家庭、民間事業所及び公共団体等から請負又は委任の形式で引き受けます。会員をはじめ役職員一丸となって事業を推進した結果、本年度における請負・委任契約の事業実績(別表1・2・3参照)は、契約金額において618,840,444円となり、前年度と比較して約1.0%の減、契約件数5,866件、就業実人員1,126人、就業延人員125,903人日、就業率82.0%、年度末における会員数は、1,373人(男976人、女397人)となりました。

② 自主事業

自主事業は、会員の創意工夫により企画・実施するもので、本年度は、地域就業創出・拡大事業で「基礎学習支援事業」(おさらい教室)、「6次産業化の推進と耕作放棄地再生事業」、「見守り親孝行代行サービス」を実施、従来 of 事業として「緑のリサイクル事業」、「パソコン応援隊」、「シル

バー便利屋さん」「手作り作品（手芸品）販売事業」「刃研ぎ」、「いきいき生涯学習事業」、たんぼぼ保育園〔地域型保育事業の小規模保育事業（A型）〕の運営及び公民館の喫茶事業（東加古川公民館・加古川西公民館・両荘公民館）の11事業に取り組みました。

それぞれの事業は、緩やかにではありますが地域に浸透しつつあります。

「刃研ぎ」は毎週火曜日午前中にセンターにて作業を実施し、一般市民の皆様から好評を得ました。

「刃研ぎ」と「手芸品の販売」事業は、加古川市場まつり等各種イベントに参加し、シルバー事業の普及啓発と各事業の宣伝に効果がありました。

「緑のリサイクル事業」では、チップの堆肥化を実施、継続的に製品化して「EMチップ堆肥」として販売をしました。併せて「農業班」等が設置している有機栽培指導付きの貸農園事業等の活動を支援しました。

「たんぼぼ保育園」はシルバー人材センターの子育て支援の拠点として、園長を中心に保育士、管理栄養士、調理師等の連携のもと安心・安全をモットーに運営しています。

③ シルバー派遣事業

兵シ協が実施している「一般労働者派遣事業」を活用して、高年齢者の多様な就業ニーズに応えるための、就業形態の選択肢を増やすとともに、事業の適正化並びに法令遵守を推進しました。

結果として、契約金額 45,116,490 円、契約件数 80 件、就業実人員 120 人、就業延人員 9,475 人日となりました。（別表 3 参照）

④ 高年齢者のための有料職業紹介事業の実施

兵シ協が実施している「高年齢者の有料職業紹介事業」を活用して、センターの就業形態（請負・委任方式）に馴染まない高年齢者に適した臨時的、短期的な雇用の仲立ちをする事業で、本年度は合計 6 件 39 人の紹介を実施しました。

事業実績の総計は、契約件数 5,946 件、就業実人員 1,181 人、就業延人員 135,378 人日、契約金額は、663,956,934 円となり、前年度と比較して約 1.8% の増となりました。

(5) 高年齢者に対する講習会等の開催

会員の技能向上や安全・適正就業及び就業機会の拡大を図ることを目的に当センター主催で 6 種目 30 講習を開催し、合計 357 人の会員が受講しました。初めて自動車運転業務等の就業会員を対象にした自動車安全運転講習を実施しました。

（下表参照）

技能習得のための講習

講習名	コース	講習数	受講人数
植木剪定講習	3日間コース	2講習	5人
機械除草講習	1日間コース	2講習	11人
家庭清掃基礎講習	3時間コース	11講習	57人

安全・適正就業のための講習

接遇講習	2時間コース	11講習	128人
救急救命講習	3時間コース	3講習	38人
自動車安全運転講習	1時間・シュミレーション		94人

また、兵シ協、ハローワーク加古川及び地域の事業主団体等との連携のもと、高齢者スキルアップ・就職促進事業として地域の55歳以上シニア層を対象とした5種目5講習（清掃スタッフ講習1講習、介護職スキルアップ講習1講習、マンション管理員養成講習1講習、送迎（福祉）スタッフ講習1講習、警備スタッフ講習1講習）を開催するとともに兵シ協主催の「高齢者活躍人材育成事業」で開催した保育補助支援講習、生活支援（施設・訪問介護）講習会及び生活支援（施設・訪問介護）スキルアップ講習会に協力して高年齢者の技能の習得と就職や就業の場の提供及び確保に努めました。

(6) 普及・啓発活動の推進

シルバー人材センター事業の趣旨や活動システムについて、お客様の正しい理解と一般市民へのPRを行うため、加古川市と加古川市町内会連合会のご協力により、センターPR用チラシを加古川市内の家庭に2回（7月、10月）全戸配布し、1回（3月）回覧をしました。併せてチラシや広報紙の配布、HP等の広報活動を通じて、事業の普及啓発に努めました。

HPでは、会員の日頃の活動を掲載するとともに、引き続き「資格情報」を掲載し、顧客の要望に応じて受注開拓に努めました。

10月をシルバー人材センター普及啓発月間と設定して、10月27日（土）イオンタウン加古川（東神吉町出河原）において「シルバーふれあいフェスティバル2018」を開催するとともに、全シ協、兵シ協との連携のもと「シルバーの日」を中心に様々な活動を通じてシルバー事業の社会的意義を広める普及啓発に努めました。

会員が事業の適切な理解を得るための取り組みとして「シルバーだより」（5月、11月）、会報「還流」（7月、1月）及び「シルバーニュース」（9月、3月）を発行・配布しました。

(7) 安全・適正就業の推進

安全・適正就業は、シルバー人材センター事業の最優先課題であり、会員が常に「安全と健康＝自己管理」という意識を持ち、事故の防止や健康管理に努めなければなりません。このため安全・適正就業推進委員会を中心に、会員の安全就業、健康管理及び適正就業の推進に努めました。

- 安全・適正就業推進委員会の開催（4回）
- 安全就業教育の実施（入会説明会時12回）
- 交通安全意識高揚のための啓発（全国交通安全運動、県事故防止運動）
- 安全就業パトロールの実施（安全・適正就業推進委員会2回、担当職員等は必要に応じて随時巡回パトロール、パトロールに関する評価は、概ね良好であり、ヘルメットの着用等は確実に行われていました。）
- 職種別の安全講習会の実施（技能講習時15回）
- 接遇講習の実施（11回）
- 救急救命講習・自動車安全運転講習の実施（4回）
- 健康管理・健康体操に関する講座（地区・地域親睦会7回）
- 適正就業の推進のため長期就業の解消に努めました。
- 正会員の安全・適正就業に係る就業制限に関する基準を活用して、会員の事故防止や適正就業に努めました。
- 平成30年度に事故を起こした会員に4回の委員会毎に出席を求め、事故発生の状況の再確認と事故の再発防止に努めました。
- 平成28年9月に厚生労働省が示した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を活用して、発注者に対してシルバー人材センターにおける働き方について周知し、会員に対しては周知と必要に応じて研修や面談による説明を実施して、適正就業の推進に努めました。

(8) 組織の充実

① 部会・委員会の組織の見直しと活用

時代の変化や地域のニーズに的確に対応するために総務・地域活動委員会、広報委員会、福利厚生委員会、業務・就業開拓委員会、安全・適正就業推進委員会、女性会員拡大委員会の各種委員会を開催し、委員会毎のテーマを設定して会員からの提案等を活用した事業の推進に努めました。

各委員会の協議、検討状況は「委員会だより」として5回に渡り全会員に配布しました。

② 女性の入会促進と就業拡大

「家事援助サービス事業」のコーディネーターを配置し、事業に関する講習会（家庭清掃基礎講習、認知症サポーター養成講座、作って遊んでつながって、手芸講習等）を実施し、女性会員の活躍の場を提供するとともに、女性会員拡大委員会を開催して女性会員の入会促進に努めました。

女性会員拡大委員会を中心に、女性部「よっといで加古川」の行事とし

て、9月に「傾聴講座」（3日間延10時間）及び巻き寿司講習、11月に「生前整理講習」（延2時間）、2月に「味噌作り講習」（延3時間）をセンター2階会議室等で開催し、非会員女性の参加を推進して入会の促進に努めました。

また、会報「還流」やシルバーニュース、シルバーだよりを発行・配布、ポスターの掲示、パンフレットの配付及びHPにより、女性の入会を促進しました。

③ 地域班組織の充実

センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高年齢者が共に助け合い共に働く自主的な組織で、地域社会の理解と協力を得ることにより、活発な活動ができます。そのために、地域班活動の活性化に努めました。

地域班活動では、8地区18地域の地区委員及び世話人46人の積極的な活動により、センター役員や事務局と会員とのパイプ役としての役割を果たすとともに地区毎にそれぞれ工夫を凝らした親睦会等を実施しました。

また、引き続き「誰にでも出来るボランティア」として収集ボランティア（アルミ缶プルタブ、ペットボトルのキャップ、古切手、ベルマーク）に取り組みそれぞれ関連団体に寄付しました。これらの活動により会員相互の連帯意識の高揚と事業の普及啓発並びに社会貢献に努めました。

④ 職群班組織の充実

機械除草班、人力除草班、植木班、家事援助班及び便利屋班等において、地域毎の就業を推進し、各地域の会員がそれぞれの地域で就業するシステムが整い、より一層地域社会に貢献するための体制づくりと安全就業の徹底に努めました。

(9) 福利厚生事業の充実と活用

福利厚生委員会が主体となって、会員の親睦及び相互共助並びにセンターの発展に努めました。

平成30年5月に親睦バス旅行を計画・実施、平成30年9月にボーリング大会、11月にグラウンドゴルフ大会及び平成31年2月に輪投げ大会を計画・実施、慶弔見舞金の給付、各種同好会等への助成及びHPや会報「還流」で会員お得情報を発信しました。

また、10月に開催したシルバーふれあいフェスティバル2018では、会員の皆様の参画のもと昨年引き続き民間商業施設で開催しました。

(10) ISO9001 認証継続

平成31年2月19日に2015年版による1年毎の維持審査（2年目）を受

け、不適合なしとの結果となり、適合の判定を受けました。

(11) 法人としての一般事業

ア 定款に定める会議

① 定時総会

平成 30 年 5 月 31 日（木） 加古川市民会館 小ホール

主な内容 （決議事項）定款の一部変更承認、平成 29 年度決算の承認、
役員を選任、

（報告事項）平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画、収支予算等

② 理事会

（第 1 回） 平成 30 年 5 月 10 日（木） センター会議室

主な内容 定款の一部変更承認、平成 29 年度事業報告承認、決算報告承認、役員候補者選任の承認、補正予算（平成 30 年度第 1 回）承認、入会承認報告、

（第 2 回） 平成 30 年 5 月 31 日（木） 加古川市民会館 会議室

主な内容 理事長、副理事長及び常務理事の選定、委員会委員長の選出

（第 3 回） 平成 30 年 7 月 19 日（木） センター会議室

主な内容 フェスティバル 2018 開催承認、レクリエーション大会開催承認、会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告等

（第 4 回） 平成 30 年 9 月 20 日（木） センター会議室

主な内容 プラスチック会員証導入承認、入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告等

（第 5 回） 平成 30 年 11 月 29 日（木） 加古川市立勤労会館

主な内容 プラチナ会員制度運用規定承認（継続審議）、正会員会費の減免に関する規定一部改正承認（継続審議）、入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告、フェスティバル・レクリエーション大会報告等

（第 6 回） 平成 30 年 1 月 24 日（木） センター会議室

主な内容 プラチナ会員制度運用規定承認、正会員会費の減免に関する規定一部改正承認、正会員の事業参画に推進に係るポイント制度の導入承認、入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告等

(第7回) 平成31年3月18日(月) センター会議室

主な内容 補正予算承認、事業計画・収支予算の承認、保育園職員待遇改善承認、入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告等

③ 監事監査

平成30年5月8日(火) センター会議室

内 容 平成29年度 事業及び会計に係る監査

平成31年1月15日(火) センター理事長室

内 容 平成30年度 事業及び会計に係る中間監査

イ その他の会議

総 務 部 会

(総務・地域活動委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
5	11	金	第1回 本年度の日程と主な取組み、定款の一部改正、フェスティバル2018の開催、第1回地区委員連絡会議開催	会議室
6	8	金	第2回 本年度事業実績、第2回地区委員連絡会議の開催、ふれあいフェスティバル2018の開催	会議室
9	7	金	第3回 本年度事業実績、第3回地区委員連絡会議の開催、プラスチック会員証の導入、ふれあいフェスティバル2018の開催	会議室
11	9	金	第4回 本年度事業実績、第4回地区委員連絡会議の開催、プラチナ会員制度の運用、会員ポイント制度の導入、	会議室
12	14	金	第5回 本年度事業実績、第5回地区委員連絡会議の開催、会員ポイント制度の導入、平成31年度委員会の主な予定	会議室
3	15	金	第6回 本年度事業実績、第6回地区委員連絡会議開催、平成31年度活動予定	会議室

(広報委員会)

期 間	主 な 内 容	場 所
5月～6月	「還流」73号発行の準備(原稿収集、構成、校正等) 7月1日付け「還流」第73号発行・配布	会議室
10月～12月	「還流」74号発行の準備(原稿収集、構成、校正等) 1月1日付け「還流」74号発行・配布	会議室

(福利厚生委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
4	26	木	第1回 平成30年度会員親睦旅行準備、シルバーふれあいフェスティバル2018・レクリエーション大会の予定、同好会活性化	会議室
6	28	木	第2回 親睦バス旅行の反省会、フェスティバル、レクリエーション大会（ボーリング）の開催、同好会の活動状況と活性化	会議室
9	6	木	第3回 シルバーふれあいフェスティバル2018 実行委員会報告及びレクリエーション大会（グラウンドゴルフ）の開催	会議室
1	17	木	第4回 レクリエーション大会（輪投げ）の開催、平成31年度親睦旅行及びの計画と委員会の予定、	会議室

(シルバーふれあいフェスティバル実行委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
7	3	火	第1回 委員長・副委員長の選出、開催目的、日程、場所、内容、PR方法及び委員会の予定を検討	会議室
7	31	火	第2回 開催目的、日程、場所、内容・会場レイアウトと当日のスケジュールの検討・決定、役割分担の決定	会議室
8	21	火	第3回 各委員及び参加団体等の役割等の検討、当日のメイン会場・物販会場の責任者の役割検討	会議室
9	19	水	第4回 展示・催しの参加人数等の最終点検、当日役割等の最終確認、メイン会場・物販会場の責任者の選任	会議室
10	17	水	第5回 会員及び市民向けのPRの進捗状況、参加団体等の準備の進捗状況の確認、参加人数等の最終確認	会議室
11	7	水	第6回 フェスティバル反省会（目的、日程、場所、役割等）、来年度の予定（同時期に同じ会場にて開催）	会議室

事業部会

(業務・就業開拓委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	8	金	第1回 平成30年度の取組み予定（就業開拓、就業創出、技能講習会、配分金、仕事の提供方法等）	会議室
10	5	金	第2回 事業の進捗状況確認（就業開拓、就業創出、技能講習会、仕事の提供方法等）、配分金の見直し（最賃の改定による）	会議室
1	18	金	第3回 配分金基準額の見直し、事業実施状況、入会促進の状況、今後の取組み	会議室
3	1	金	第4回 平成31年度料金表・配分金基準額の決定、会員の入会促進の状況、平成31年度委員会の予定	会議室

(安全・適正就業推進委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	22	金	第1回 事故報告と再発防止対策、発生事故の検証、前年度の活動のまとめ、本年度の活動予定について（パトロール等）	会議室
7	27	金	安全就業パトロール 2班に分かれて各現場をパトロール	会議室外
8	24	金	第2回 事故報告と防止対策、秋の交通安全運動期間中の取組み	会議室外
11	30	金	第3回 事故報告と防止対策、年末の交通事故防止運動期間中の取組み、各種講習会の開催予定	会議室
2	22	金	安全就業パトロール、3班に分かれて各現場をパトロール	会議室外
			第4回 事故報告と防止対策、平成31年度計画、	

(女性会員拡大委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	1	金	第1回 平成30年度委員会の活動予定、女性の集い等の年間計画について	会議室
9	7	金	第2回 巻き寿司講習、生前整理と介護講習の計画、シルバーふれあいフェスティバルの協力体制	会議室
12	7	金	第3回 巻き寿司・生前整理講習、シルバーふれあいフェスティバルの報告、味噌作り講習の役割分担、平成31年度委員会予定	会議室
2	8	金	第4回 味噌づくり講習の役割最終決定、平成31年度委員会予定（日程調整、講習等の種目の検討）、	会議室

(地区委員連絡会議)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
5	18	金	第1回 現況報告、予定説明、配布物（定時総会案内・議案書、お仕事情報、講習会情報、シルバーだより等）	会議室
6	15	金	第2回 現況報告、予定説明、配布物（還流、委員会だより、お仕事情報、安全ニュース、熱中症、ハチ・虫対策等）	会議室
9	19	金	第3回 現況報告、予定説明、配布物（シルバーニュース、お仕事情報、講習会情報、フェスティバル、レクリエーション大会案内等）	会議室
11	21	金	第4回 現況報告、予定説明、配布物（シルバーだより等）	会議室
12	21	金	第5回 現況報告、予定説明、配布物（還流等）	会議室
3	22	金	第6回 現況報告、予定説明、配布物（シルバーニュース、事業計画、予算、親睦旅行案内等）	会議室

(地区・地域親睦会)

月	日	曜	地区・地域	内 容 等	実 施 場 所
5	27	日	加古川・鳩里地域	清掃ボランティア、輪投げ、いきいき百歳体操、	加古川駅～ながはえ公園、粟津神社社務所
7	22	日	両荘地区	健康講座、輪投げ、ビンゴゲーム、食事会、	両荘公民館
	31	火	川西地区	グラウンドゴルフ、食事会、ビンゴゲーム	加古川総合運動公園
9	27	木	浜手地区	グラウンドゴルフ、昼食会、健康講座、	尾上公園
	29	土	平岡地区	健康講座、輪投げ、ビンゴゲーム、食事会、	平岡会館
	29	土	氷丘地域	グラウンドゴルフ、食事会	河川敷緑地（河原地区）、
10	29	月	野口地区	グラウンドゴルフ、食事会、健康講座、マジックショー、ビンゴゲーム	J A加古川南グラウンド「ふれあい広場」外
	31	水	健友会地区	健康講座、健康体操、輪投げ、食事会、	加古川北公民館
11	27	火	志方地区	健康講座、輪投げ、ビンゴゲーム	志方二ノ丸会館

(別表1)

平成30年度会員の入退会状況

(単位：人)

月	月別移動状況						月末会員数		
	入会数			退会数			男	女	計
	男	女	計	男	女	計			
3	—	—	—	—	—	—	1,007	394	1,401
4	11	8	19	40	25	65	978	377	1,355
5	16	10	26	3	4	7	991	383	1,374
6	8	12	20	5	1	6	994	394	1,388
7	19	3	22	0	1	1	1,013	396	1,409
8	10	3	13	2	0	2	1,021	399	1,420
9	4	6	10	3	0	3	1,022	405	1,427
10	11	6	17	3	1	4	1,030	410	1,440
11	10	7	17	11	6	6	1,029	411	1,440
12	5	2	7	24	11	35	1,010	402	1,412
1	3	6	9	5	3	8	1,008	405	1,413
2	14	1	15	6	1	7	1,016	405	1,421
3	13	8	21	53	16	70	976	397	1,373
増減	+124	+72	+196	△155	△69	△224	△31	+3	△28

(別表2)

平成30年度事業実績(請負・委任契約)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

会員数 1,373人(男976人、女397人)

職群 區別	民間事業			公共事業		
	件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)	件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)
技術	51	2,619	7,907,215	3	1,895	8,496,631
事務	21	594	4,396,109	12	450	2,054,121
管理	29	9,660	48,402,691	17	13,451	57,123,165
外交	8	945	4,350,763	4	527	4,186,748
技能	3,751	15,170	90,017,452	35	2,233	20,171,801
一般作業	1,176	40,095	157,864,378	101	21,486	137,753,948
サービス	641	11,919	64,580,464	37	4,859	11,534,958
合計	5,677	81,002	377,519,072	209	44,901	241,321,372
総合計				5,866	125,903	618,840,444

(別表3)

請負等事業及びシルバー派遣事業
平成30年度事業実績一覧
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	項目	契約件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)
請負等事業	平成29年度	5,922	1,133	127,671	625,272,344
	平成30年度	5,866	1,126	125,903	618,840,444
	前年度対比	99.1%	99.4%	98.6%	99.0%
派遣事業	平成29年度	43	85	5,331	26,694,848
	平成30年度	80	120	9,475	45,116,490
	前年度対比	186.0%	141.2%	177.7%	169.0%
合計	平成29年度	5,965	1,176	133,002	651,967,192
	平成30年度	5,946	1,181	135,378	663,956,934
	前年度対比	99.7%	100.4%	101.8%	101.8%